



『新宿力』で創造する  
やすらぎとにぎわいのまち新宿

令和2年第1回区議会定例会  
新宿区長定例記者会見資料  
令和2年2月10日(月)

事業名	災害に強い体制づくり	予算(案)の概要	102・103ページ
予算額	令和2年度予算額 (前年度予算額)	49,781千円 48,612千円	(拡充・継続)
取材先	避難所運営体制、多様な視点での運営方法:危機管理担当部地域防災担当副参事 野島(電話 03-5273-4124) 二次避難所:福祉部地域福祉課長 中川(電話 03-5273-4170) 土のうステーション:みどり土木部道路課長 小野(電話 03-3209-1176)		

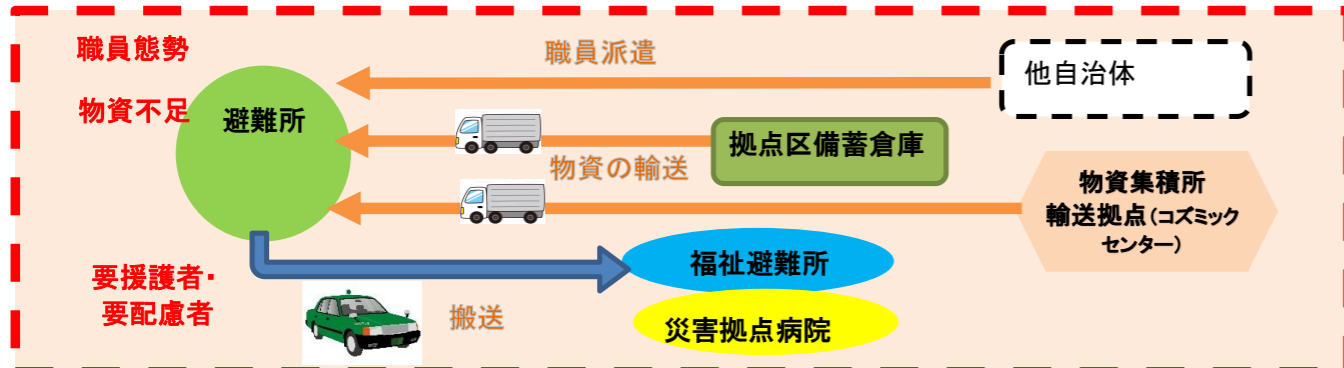
【災害に強い体制づくり】

災害時における避難所間の移送体制の構築や、多様な視点での避難所運営方法の検討など避難所機能の充実を図っていきます。

◆避難所運営体制の構築 (予算額41,692千円)

●災害時の輸送・搬送等の体制

令和元年度に「新宿区災害時受援応援計画」を策定し、災害時における他自治体からの応援態勢や、物資等の輸送・搬送体制の構築に取り組んでいます。(※輸送・搬送体制については、東京都トラック協会新宿支部、東京都個人タクシー協同組合新宿支部、株式会社グリーンキャブ等との協定)



●発災当初の緊急対応体制

道路の遮断等で備蓄倉庫等からの輸送が難しい場合には、配備するリヤカーを使用し連携します。



◆多様な視点での運営方法の検討(女性・子ども・高齢者・障害者等)

(予算額4,400千円)

区は、多様な視点を取り入れた避難所運営について考えるワークショップを、平成30年度から開始し、これまで、四谷地区、榎町地区、柏木地区、角筈地区で実施。

令和2年度も、新たに2地区で実施予定。

ワークショップであげられた課題や対応方法について、区内全域で共有を図っていきます。



◆二次避難所(福祉避難所)の充実と体制強化 (予算額3,419千円)

(1) 民間事業者との協定締結

災害時に区内民間施設を福祉避難所として開設できるよう、区内民間事業者と協定を締結していきます。(協定締結施設 19か所)

(2) 福祉避難所運営マニュアルの作成

令和元年度に策定した福祉避難所運営マニュアル(標準版)を提供し、各福祉避難所の特性に応じたマニュアル作成の支援を行うとともに、福祉避難所運営マニュアルのポケット版を作成します。

福祉避難所運営マニュアルのポケット版(1000部)

<配布先> ・福祉避難所 ・民生委員・児童委員 ・避難所運営管理組織(町会・自治会等) ・区関係部署

【水害対策の強化】

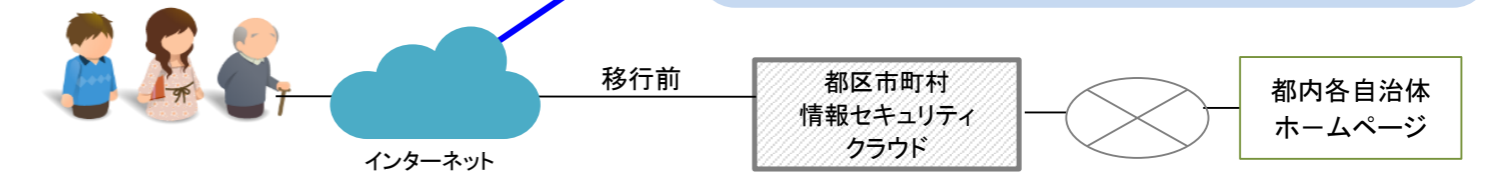
昨年の台風19号で直面した課題への対応として情報発信基盤の強化や区民の水防への備えを支援します。

◆区公式HP提供環境のクラウド化

発災時の業務継続性とサービス提供レベルの向上を図るため、区公式ホームページシステムをクラウド環境に移行しました。

- バックアップを東日本と西日本の両方に持つことで、大規模災害時でもサービスの安定的な提供を確保
- アクセス集中による通信回線の逼迫に伴う閲覧障害を回避

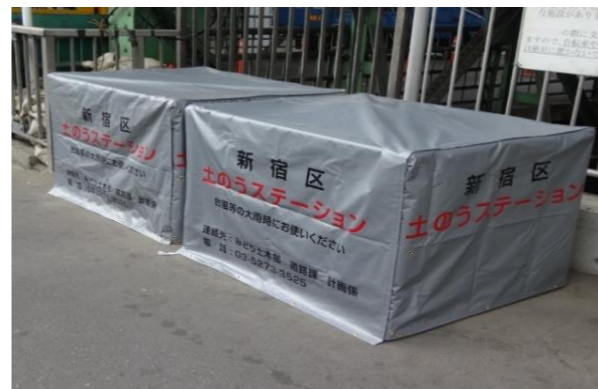
区民等  
ホームページ閲覧者



◆土のうステーションの整備

大雨時に、区民の方が土のうをいつでも取り出せる「土のうステーション」を令和元年度は、隆慶橋、新小川公園、新宿中央公園、中井駅前広場(北側、南側)に整備します。令和2年度も引き続き、「土のうステーション」の整備を進めていきます。

■整備例①(隆慶橋)



■整備例②(中井駅前広場)

